

### 第3 決算審査特別委員会

## 建設経済 常任委員会



左から近藤、菰方、中島藤、内田の各委員

委員長	中島 藤美
副委員長	菰方 重義
委員	内田 清喜
委員	近藤 純久

## 一般 会計

■農業振興費の主なもの、福岡大城農業協同組合、農事組合法人及び生産者団体などの事業主体が実施する補助事業がほとんどで、町単独で実施する補助事業、国県費補助2分の1〜3分の1で実施する補助事業であった。その中で、町単独の農業振興助成事業、農業用機械導入促進事業で不要額が生じた。

■この関係に対する補助金については、これまで削減されることなく支出されている補助金が見受けられ、昨年12月に大木町補助金等検討委員会から提言された「補助金の見直しについて」に沿って、削減されたい。

■畜産費は、耕種、畜産農家連携による堆肥化施設等の整備を目的としたバイオマスの環づくり事業を実施され、農業の分野においても資源循環が推進されている。

■土地改良費は、筑後川下流事業完了等に伴う償還負担金、各協議会への負担金、大木町土地改良区への補助金及びクリーク防災事業などの負担金が主なものであり、クリーク防災は、今後大溝地区の採択に向けて取り組んでいく。

■商工振興費は、商工会への助成が主なもので、その他地域振興券発行事業及びおおきまつり助成である。

■農地費は、農業集落排水施設整備を進めた。  
■地籍調査費は、官民境界の復元測量等に伴

うものや土地台帳等の修正業務を行った。

■クリーク管理保全対策費は、行政区の協力によるクリーク雑草除去、泥土上げ、クリークの整備を図った。

■農地整備費は、補助の農村総合整備事業で進めたものが主なもので、平成18年度が最終年度で、次期事業として農村振興整備事業の基本計画策定業務に取り組んだ。

■道路新設改良費は、大木中学校周辺の自歩道整備、生活道路等整備で、特に拡幅要望に伴う集落内道路整備に取り組んでいる。

■産業振興課関係のクリーク防災事業及び建設課の農村総合整備事業で工事された箇所現地調査を行った。

■支出については適正に処理されており、今後も予算執行にあたっては適正な支出に努められたい。



多自然型護岸工事